

# 進学や就職に関する 道内高校・大学への意識調査結果

令和5年（2023年）12月

北海道総合政策部  
地域創生局地域戦略課



## 【調査の概要】

### 趣 旨

第3期北海道創生総合戦略の策定に当たり道内の若い世代の転出超過対策の参考とするため、道内公立高校及び道内大学の担当者へ進学や就職の動向や考えについて調査を実施。

### 調査方法

道内の全高校及び全大学に対しアンケート形式による調査を実施し、道の簡易申請手続フォームへの入力による回答。

### 実施期間

#### 【高 校】

令和5年（2023年）10月4日～10月26日

#### 【大 学】

令和5年（2023年）10月4日～10月26日

### 回答状況

#### 【対 象】 進路指導及び就職支援担当者

#### 【高 校】

調査数：275校      回答数：128校      （回答率：46.5%）

#### 【大 学】

調査数： 33校      回答数： 15校      （回答率：45.5%）

## 【設問】 道内高校

- 【1】 貴校が所在する市町村名を記入してください。
- 【2】 貴校のおおよその進学、就職の割合を教えてください。(進学○：就職○)
- 【3】 貴校の生徒の進学先として多いと考える地域を選択してください。(2個まで選択可能)
- 1 地元市町村
  - 2 地元振興局管内(地元市町村は除く)
  - 3 地元振興局以外の道内(札幌市除く)
  - 4 札幌市内(札幌市内が地元の場合、地元市町村を選択してください)
  - 5 東京圏
  - 6 道外(東京圏除く)
- 【4】 【3】で「札幌市内」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。(2個まで選択可能)
- 1 希望する進学先が札幌市内に多い
  - 2 札幌市以外に希望する進学先が少ない
  - 3 札幌市が地元あるいは出身地である生徒が多い
  - 4 札幌市に住みたい生徒が多い
  - 5 その他
- 【5】 【3】で「東京圏」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。(2個まで選択可能)
- 1 希望する進学先が東京圏に多い
  - 2 東京圏外に希望する進学先が少ない
  - 3 東京圏に住みたい学生が多い
  - 4 その他
- 【6】 【3】で「札幌市内」「東京圏」以外を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを記載してください。
- 【7】 地元を出て進学した生徒の卒業後の地元への回帰について、生徒の希望や実際の傾向などを把握していましたが、下記より選択願います。(2個まで選択可能)
- 1 地元に戻りたい
  - 2 地元を離れ経験を積んだ後、将来的に地元に戻りたい
  - 3 地元に戻りたいが、希望する就職先等がない
  - 4 地元を離れたい
  - 5 その他
- 【8】 貴校の生徒の就職先として多いと考える地域を選択してください。(2個まで選択可能)
- 1 地元市町村
  - 2 地元振興局管内(地元市町村は除く)
  - 3 地元振興局以外の道内(札幌市除く)
  - 4 札幌市内(札幌市内が地元の場合、地元市町村を選択)
  - 5 東京圏
  - 6 道外(東京圏除く)
- 【9】 【8】で「札幌市内」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。(2個まで選択可能)
- 1 希望する就職先が札幌市内に多い
  - 2 労働条件、賃金の良い就職先が札幌市内に多い
  - 3 大企業等での仕事を希望する生徒が多い
  - 4 専門性の向上を目指す生徒が多い
  - 5 札幌市以外に希望する求人が少ない
  - 6 札幌市が地元あるいは出身地である生徒が多い
  - 7 札幌市に住みたい生徒が多い
  - 8 その他

【10】 【8】で「東京圏」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 希望する就職先が東京圏に多い
- 2 労働条件、賃金の良い就職先が東京圏に多い
- 3 大企業等での仕事を希望する生徒が多い
- 4 専門性の向上を目指す生徒が多い
- 5 東京圏以外に希望する求人が少ない
- 6 東京圏に住みたい生徒が多い
- 7 その他

【11】【8】で「札幌市内」「東京圏」以外を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを記載してください。

【12】貴校の生徒が希望する職種として主なものを選択してください。(5個まで選択可能)

- 1 農林水産業
- 2 鉱業、建設業、製造業
- 3 電気、ガス・熱供給、水道業
- 4 情報通信業
- 5 運輸業、郵便業
- 6 卸売業、小売業
- 7 金融業、保険業
- 8 不動産業
- 9 飲食業
- 10 宿泊業
- 11 医療、福祉
- 12 教育、学習支援業
- 13 その他サービス業
- 14 公務
- 15 その他

【13】貴校において地元や地元企業について学ぶ機会を設ける取組等を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

【14】行っている場合、その概要を記載してください。

【15】若い世代が北海道から転出する主な理由は、道外への進学や就職であると考えられています。若い世代の道内への定着や、一旦道外に出て行っても将来的に地元に戻ってくるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 就職先の選択肢の充実
- 2 労働条件、賃金の良い就職先の充実
- 3 買い物の利便性の向上
- 4 公共交通機関の整備
- 5 子育て・教育環境の充実
- 6 医療や介護等の福祉の充実
- 7 娯楽環境の充実
- 8 その他

【16】【15】で選択した対策について、対策の具体的な内容について考えるものがあれば記載してください。

【17】道内の市町村を見ると、若い世代を中心に人口が流出している地域が多く、特に札幌市への集中が進んでいます。札幌市への集中対策として、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 就職先の選択肢の充実
- 2 労働条件、賃金の良い就職先の充実
- 3 買い物の利便性の向上
- 4 公共交通機関の整備
- 5 子育て・教育環境の充実
- 6 医療や介護等の福祉の充実
- 7 娯楽環境の充実
- 8 その他

【18】【17】で選択した対策について、対策の具体的な内容について考えるものがあれば記載してください。

【19】北海道では道内市町村から札幌市への女性の転出超過数が男性を上回る傾向が続いています。女子生徒が札幌市を希望する傾向が強い理由について、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。（2個まで選択可能）

- 1 希望する進学先が札幌市内に多い
- 2 やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない
- 3 札幌市と比べて年収が少ない
- 4 女性が技術や能力を活かせる就職先やポストが少ない
- 5 公共交通機関などのサービスが劣る
- 6 刺激が少ないなど、地方の生活は退屈な印象がある
- 7 若者が楽しめる場所や施設が少ない
- 8 地方社会は狭く、閉塞感を感じる
- 9 地方社会は女性への偏見、差別があって働きにくい
- 10 女子生徒は男子生徒より地元志向が強くない 11 その他

【20】北海道では2014年以降、女性の転出超過数が男性を上回る傾向が続いています。女子生徒が道内より東京圏を希望する理由について、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。（2個まで選択可能）

- 1 希望する進学先が東京（東京圏）に多い
- 2 やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない
- 3 東京（東京圏）と比べて年収が少ない
- 4 女性が技術や能力を活かせる就職先やポストが少ない
- 5 公共交通機関などのサービスが劣る
- 6 刺激が少ないなど、地方の生活は退屈な印象がある
- 7 若者が楽しめる場所や施設が少ない
- 8 地方社会は狭く、閉塞感を感じる
- 9 地方社会は女性への偏見、差別があって働きにくい
- 10 女子生徒は男子生徒より地元志向が強くない 11 その他

## 【進学・就職に関する道内高校への調査結果の概要】

### 【高校の所在地及び回答状況】

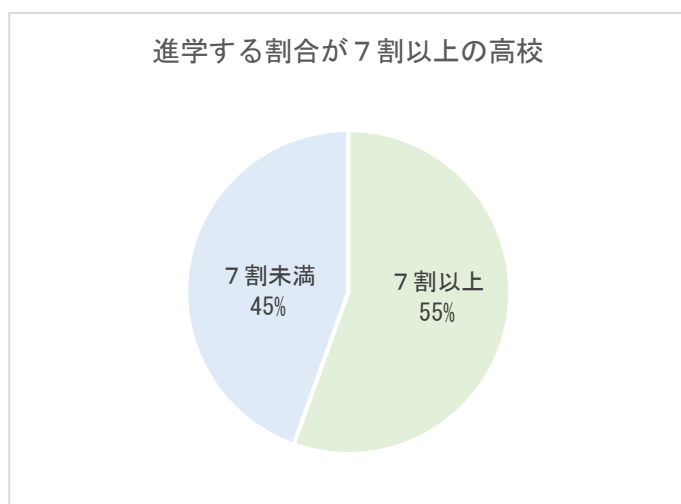
地域	札幌市	石狩 (札幌除く)	空知	後志	胆振	日高	渡島	檜山
設置数	54	15	21	18	23	7	24	4
回答数	23	4	14	6	15	1	9	3

地域	上川	留萌	宗谷	林-ツ	十勝	釧路	根室	計
設置数	31	6	7	23	22	14	6	275
回答数	12	5	2	12	10	8	4	128

## 1. 進学・就職の割合

### 【設問】

貴校のおおよその進学、就職の割合を教えてください



回答があった高校のうち約6割の高校が進学率7割以上となっている。

## 2. 進学について

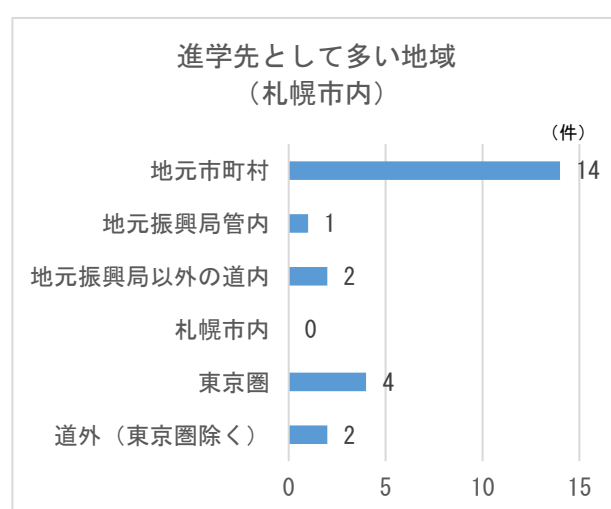
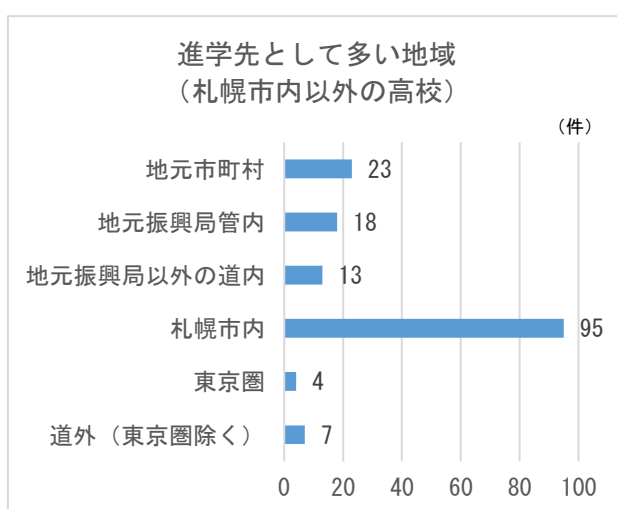
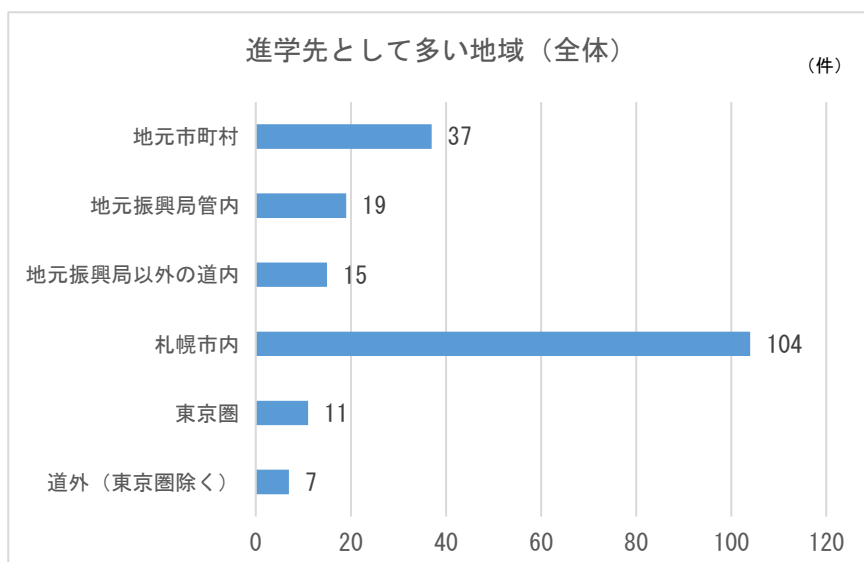
### (1) 進学する地域

#### 【設問】

貴校の生徒の進学先として多いと考える地域を選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 地元市町村
- 2 地元振興局管内(地元市町村は除く)
- 3 地元振興局以外の道内(札幌市除く)
- 4 札幌市内(札幌市内が地元の場合、地元市町村を選択してください)
- 5 東京圏
- 6 道外(東京圏除く)

【回答】



札幌市内が多いと回答した高校は、全体で 104 校と道内高校生の進学先として大多数を占めている。これに対し、東京圏が多いと回答した高校は全体で 11 校と少数であるが、札幌市内だけを見ると 23 校中 4 校と道内他地域と比べると多い傾向が見られた。

(2) 進学先（札幌市）

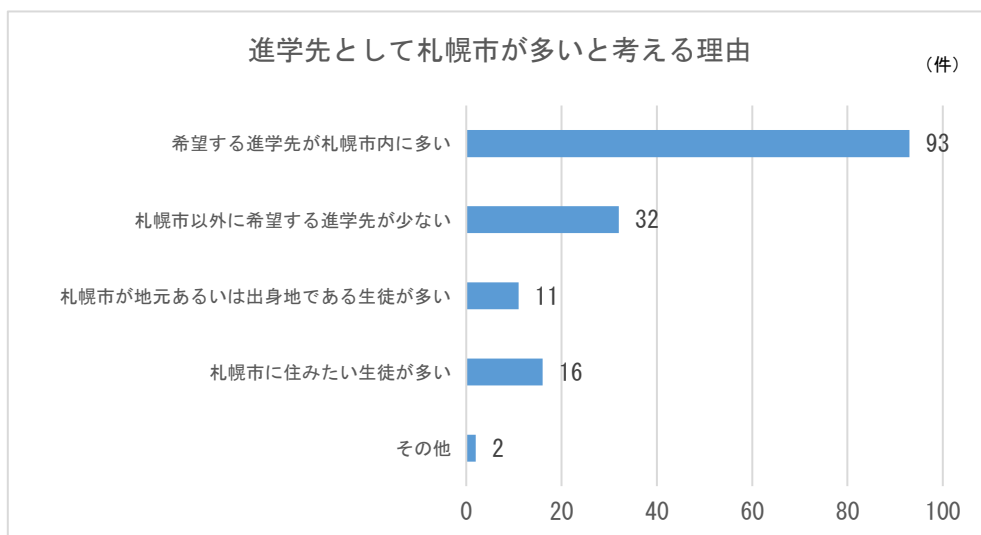
【設問】

貴校の生徒の進学先として多いと考える地域で「札幌市内」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。

- 1 希望する進学先が札幌市内に多い
- 2 札幌市以外に希望する進学先が少ない
- 3 札幌市が地元あるいは出身地である生徒が多い
- 4 札幌市に住みたい生徒が多い
- 5 その他



## 【回答】



## 【進学先の傾向として札幌市内を選択した場合、その傾向となっている理由】

### 《主な回答内容》

- ・ 学びたい学部学科コースが地元がない。
- ・ 親が道内という条件を付ける。先輩もたくさん札幌にいる。札幌への憧れが強い。

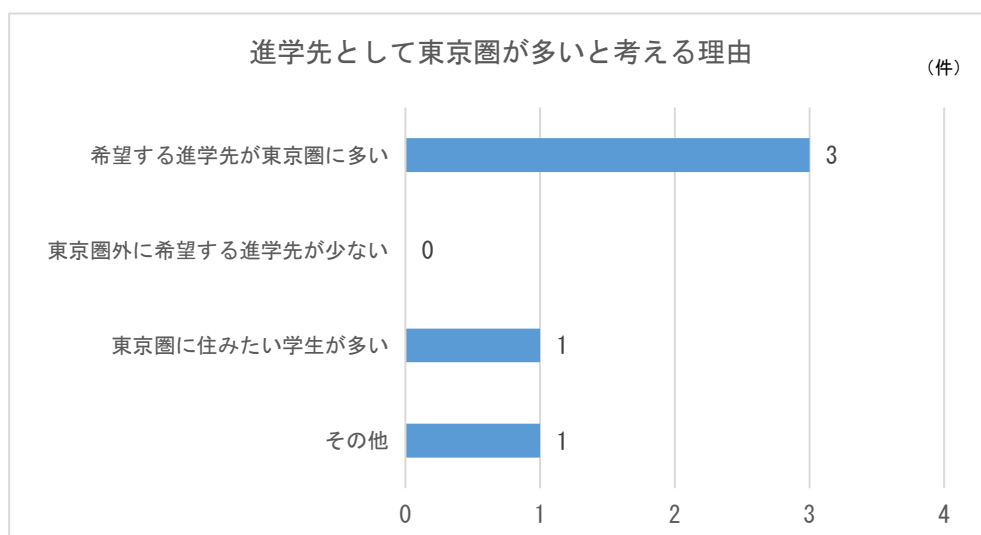
## (3) 進学先（東京圏）

### 【設問】

貴校の生徒の進学先として多いと考える地域で「東京圏」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。

- 1 希望する進学先が東京圏に多い
- 2 東京圏外に希望する進学先が少ない
- 3 東京圏に住みたい学生が多い
- 4 その他

## 【回答】



## 【進学先の傾向として東京圏を選択した場合、その傾向となっている理由】

### 《主な回答内容》

- ・ 北海道での進学先が少ないため。

【進学先として、「札幌市内」「東京圏」以外を選択した場合、その傾向となっている理由  
（自由記載）】

《主な回答内容》

- ・ 自宅から通学圏内での志望校選びが多い（同旨の回答3件）。
- ・ 北海道は自動車優先社会であり、保護者の意向として、自ら運転して移動できる地域に進ませたいとの意向がある。
- ・ 経済的負担が少ないから。

### 3. 就職について

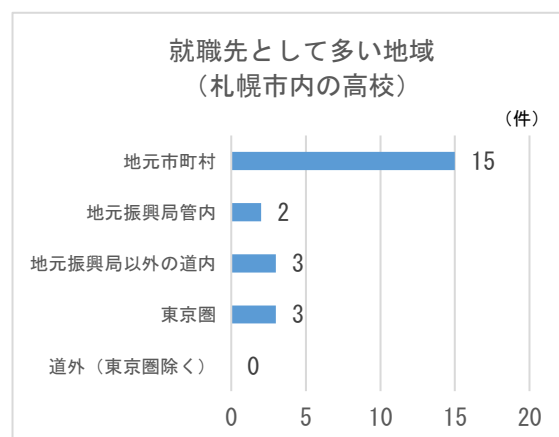
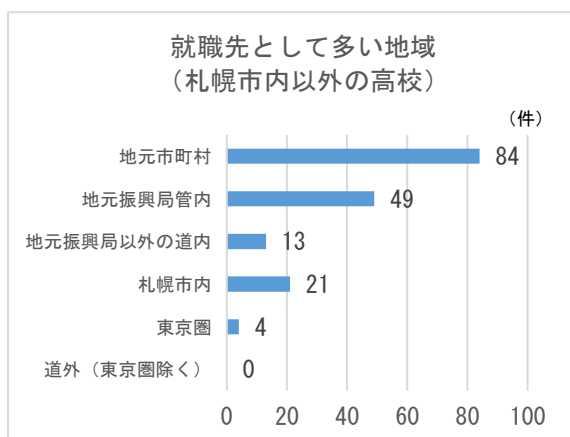
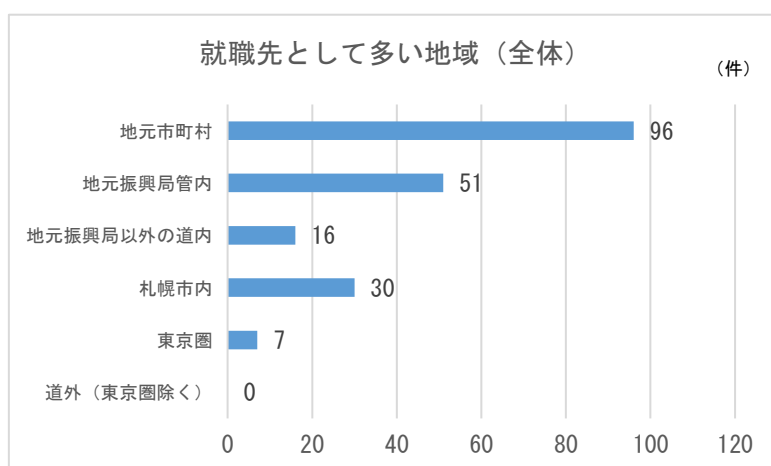
#### （1）就職する地域

【設問】

貴校の生徒の就職先として多いと考える地域を選択してください。（2個まで選択可能）

- 1 地元市町村
- 2 地元振興局管内（地元市町村は除く）
- 3 地元振興局以外の道内（札幌市除く）
- 4 札幌市内（札幌市内が地元の場合、地元市町村を選択）
- 5 東京圏
- 6 道外（東京圏除く）

【回答】



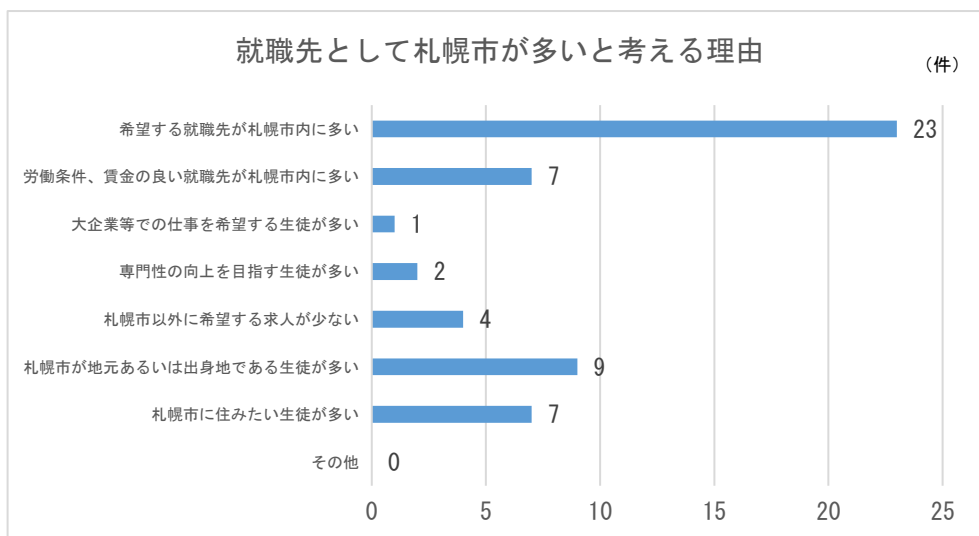
## (2) 就職先（札幌市）

### 【設問】

貴校の生徒の就職先として多いと考える地域で「札幌市」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。（2個まで選択可能）

- 1 希望する就職先が札幌市内に多い
- 2 労働条件、賃金の良い就職先が札幌市内に多い
- 3 大企業等での仕事を希望する生徒が多い
- 4 専門性の向上を目指す生徒が多い
- 5 札幌市以外に希望する求人が少ない
- 6 札幌市が地元あるいは出身地である生徒が多い
- 7 札幌市に住みたい生徒が多い
- 8 その他

### 【回答】



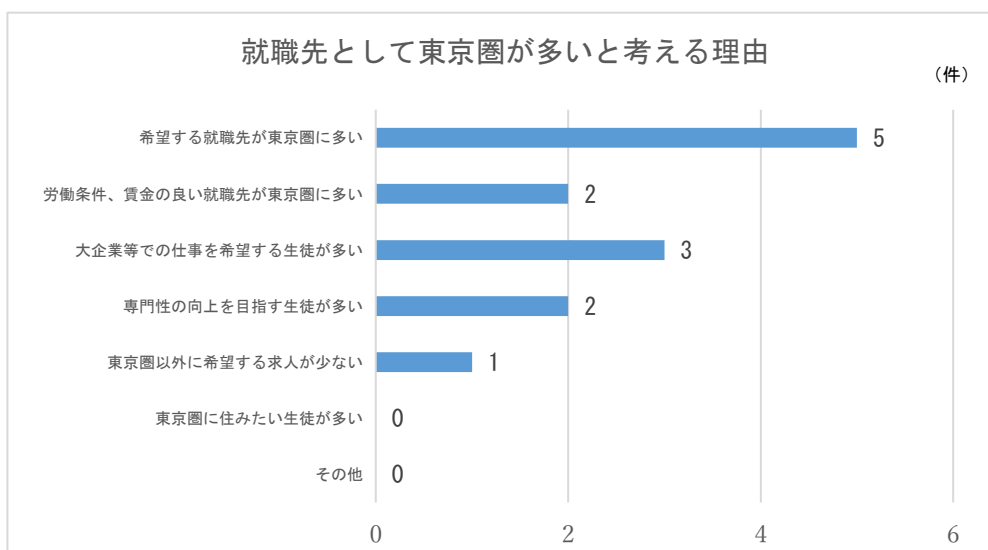
## (3) 就職先（東京圏）

### 【設問】

貴校の生徒の就職先として多いと考える地域で「東京圏」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。（2個まで選択可能）

- 1 希望する就職先が東京圏に多い
- 2 労働条件、賃金の良い就職先が東京圏に多い
- 3 大企業等での仕事を希望する生徒が多い
- 4 専門性の向上を目指す生徒が多い
- 5 東京圏以外に希望する求人が少ない
- 6 東京圏に住みたい生徒が多い
- 7 その他

【回答】



【就職先として、「札幌市内」「東京圏」以外を選択した場合、その傾向となっている理由 (自由記載)】

《主な回答内容》

- ・高卒求人において、住み込み以外では一人暮らしを想定した賃金がもらえる求人がないため。
- ・一人暮らしが金銭的、健康上困難な生徒がいるため。
- ・生まれた時より地元で暮らしており、そのままその地域で暮らしたいと考えている。
- ・地元志向、自宅から通勤したいという希望が第一条件であるため。

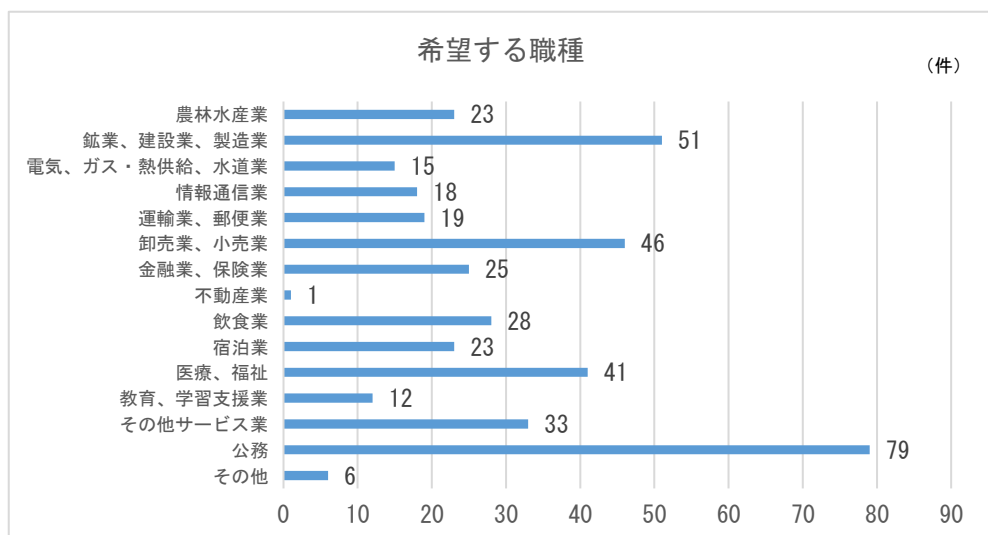
(2) 希望する職種

【設問】

貴校の生徒が希望する職種として主なものを2つ選択してください。

- 1 農林水産業 2 鉱業、建設業、製造業 3 電気、ガス・熱供給、水道業  
 4 情報通信業 5 運輸業、郵便業 6 卸売業、小売業 7 金融業、保険業  
 8 不動産業 9 飲食業 10 宿泊業 11 医療、福祉 12 教育、学習支援業  
 13 その他サービス業 14 公務 15 その他

【回答】



※その他の内容 ～観光、旅行、事務職

公務が最も多く79となった。次いで鉱業、建設業、製造業が51、卸売業、小売業46、医療、福祉41の順に多い。

## 4. 地元志向について

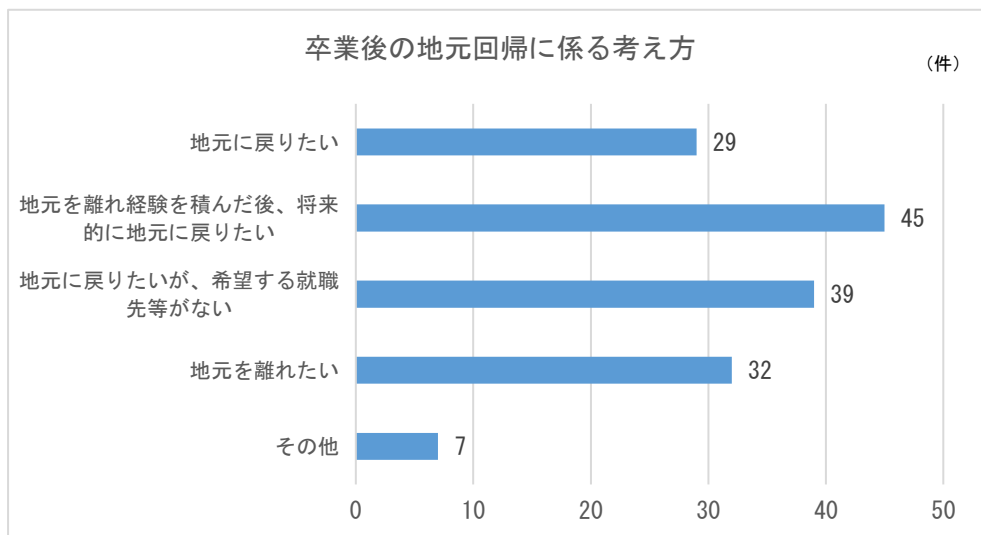
### (1) 卒業後の地元回帰に対する考え

#### 【設問】

地元を出て進学した生徒の卒業後の地元への回帰について、生徒の希望や実際の傾向などを把握していただければ、下記より選択願います。(2個まで選択可能)

- 1 地元に戻りたい
- 2 地元を離れ経験を積んだ後、将来的に地元に戻りたい
- 3 地元に戻りたいが、希望する就職先等がない
- 4 地元を離れたい
- 5 その他

#### 【回答】



#### 《主な具体的記述》

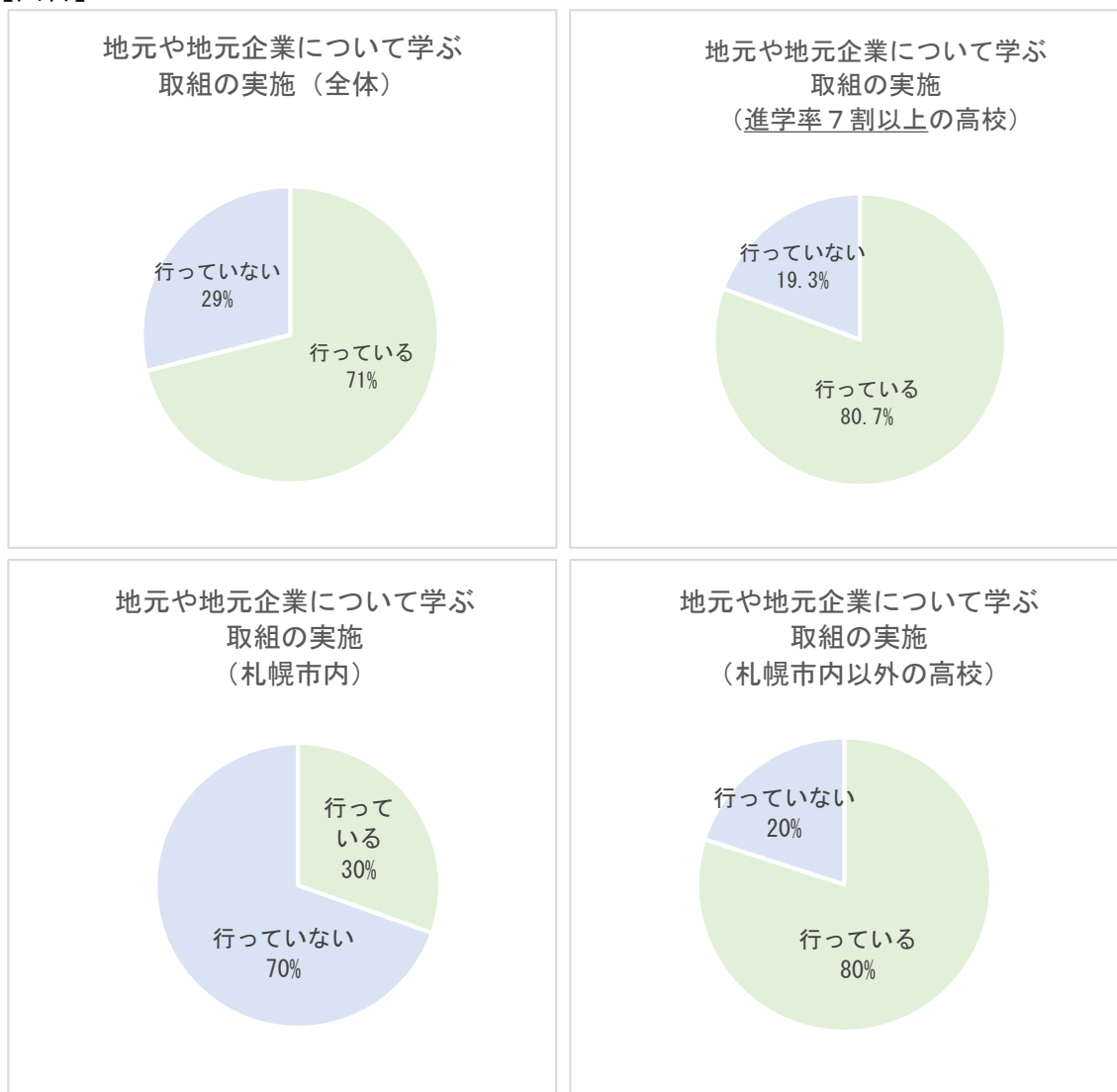
- ・卒業後地元回帰調査をしていない(同旨の回答:6校)。
- ・こだわりがない生徒や、海外などを視野に入れている。

### (2) 地元学習について

#### 【設問】

貴校において地元や地元企業について学ぶ機会を設ける取組等を行っていますか。

【回答】

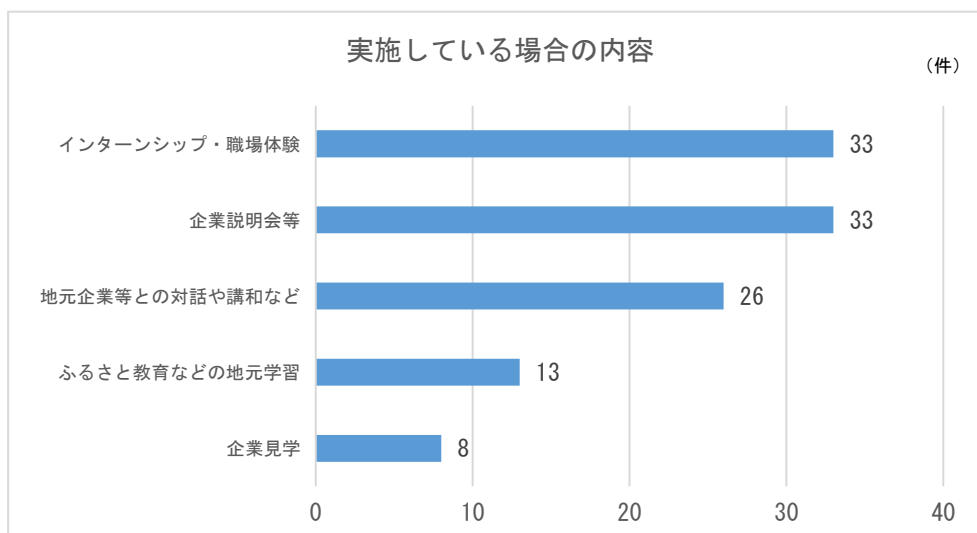


回答のあった高校のうち約7割の91校が何らかの地元学習を実施している。

札幌市内と札幌市内以外の高校の回答状況を比較すると、札幌市内以外の高校では約8割が行っていると回答したのに対し、札幌市内の高校では行っていると回答したのは約3割と大きな差が見られた。

また、進学率7割以上の高校の回答状況では57校中46校の実施で、実施率は80.7%と高い傾向にあった。

## 【実施している場合の内容】



## 5. 若者の道外流出対策等について

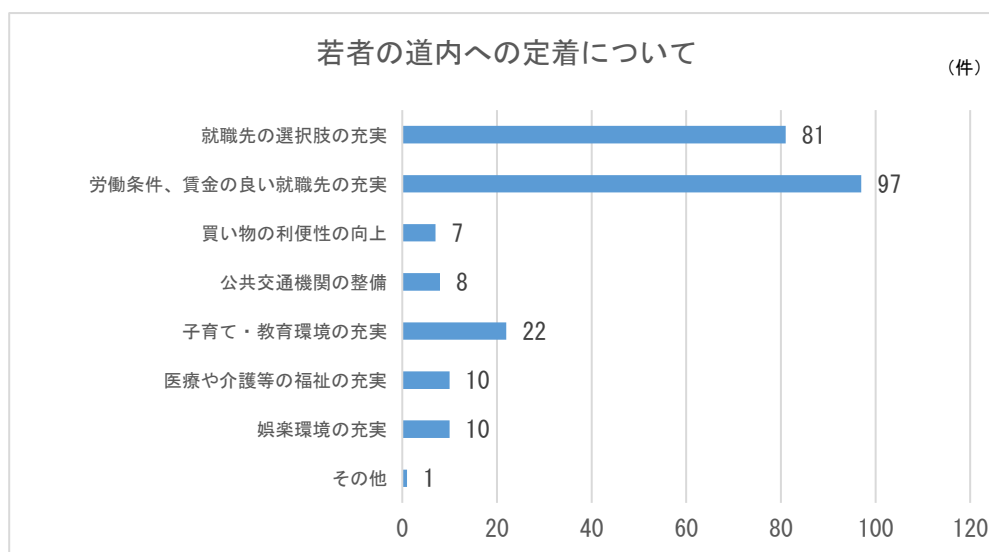
### (1) 道外流出について

#### 【設問】

若い世代が北海道から転出する主な理由は、道外への進学や就職であると考えられています。若い世代の道内への定着や、一旦道外に出て行っても将来的に地元に戻ってくるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 就職先の選択肢の充実
- 2 労働条件、賃金の良い就職先の充実
- 3 買い物の利便性の向上
- 4 公共交通機関の整備
- 5 子育て・教育環境の充実
- 6 医療や介護等の福祉の充実
- 7 娯楽環境の充実
- 8 その他

#### 【回答】



#### 【対策の具体的な内容】

- ・企業等の道内誘致（同旨の回答 16 件）
- ・賃金の良い就職先の充実、賃上げ（同旨の回答 11 件）

- ・労働条件（リモートワークの推進、通勤時間や移動時間の短縮、子育てとの両立等）の充実（同旨の回答8件）
- ・就職先の選択の充実（同旨の回答5件）
- ・生活環境の充実（同旨の回答3件）
- ・教育機会の充実（同旨の回答2件）
- ・子育て支援の充実、医療や介護等の福祉の充実
- ・女子の大学進学率を上げる施策
- ・経済的に困窮している世帯への教育支援、就労支援
- ・人手不足が深刻な職業分野を中心に奨学金や経済的支援制度の充実
- ・遠い地への転勤を減らす。
- ・様々な仕事に触れる機会を小学生の時から作る。
- ・ものづくりに関わるような仕事に関心をもたせられるように、技術者と接する場を作る。
- ・人手不足が社会全体を覆う状況下で、教育機関と企業を結びつける機会を増やす。

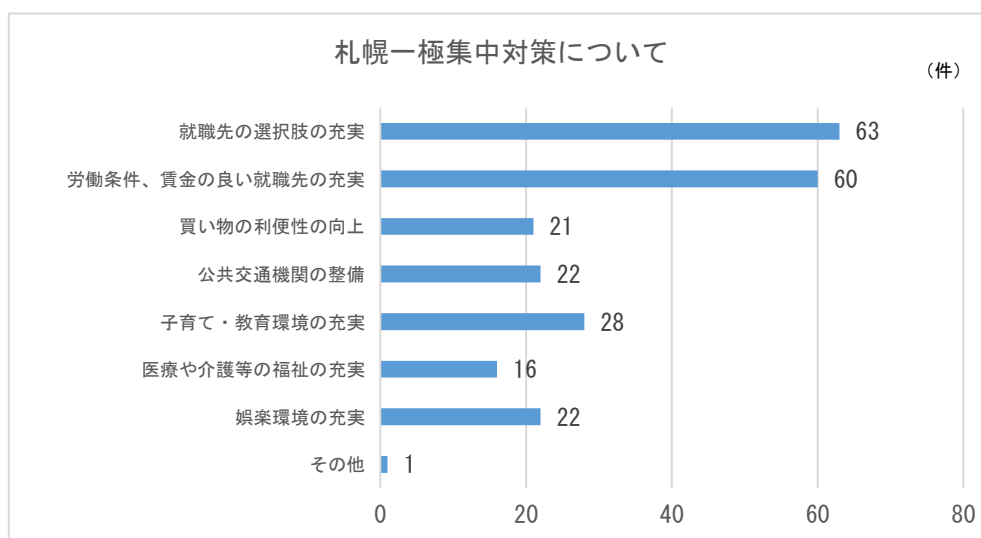
## （2）札幌への人口集中について

### 【設問】

道内の市町村を見ると、若い世代を中心に人口が流出している地域が多く、特に札幌市への集中が進んでいます。札幌市への集中対策として、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。（2個まで選択可能）

- 1 就職先の選択肢の充実
- 2 労働条件、賃金の良い就職先の充実
- 3 買い物の利便性の向上
- 4 公共交通機関の整備
- 5 子育て・教育環境の充実
- 6 医療や介護等の福祉の充実
- 7 娯楽環境の充実
- 8 その他

### 【回答】



### 【対策の具体的な内容】

- ・生活環境の整備
- ・医療、健康、娯楽、教育、文化などの充実
- ・行政、教育などの抜本的な見直し
- ・転職や副業の推進、キャリアパス重視のジョブ型雇用の導入、DXの推進、複数のインカムと複数のキャリアを形成すること。
- ・上級学校の地域分散化



- ・ 地方での産業構造の改革（人的資本、金的資本）
- ・ 大学等の移転、商業施設の充実、魅力あるまちづくり
- ・ 教育機関の誘致や関東の都市周辺のベッドタウンのようなまちづくり、企業誘致

## 6. 女性の流出対策等について

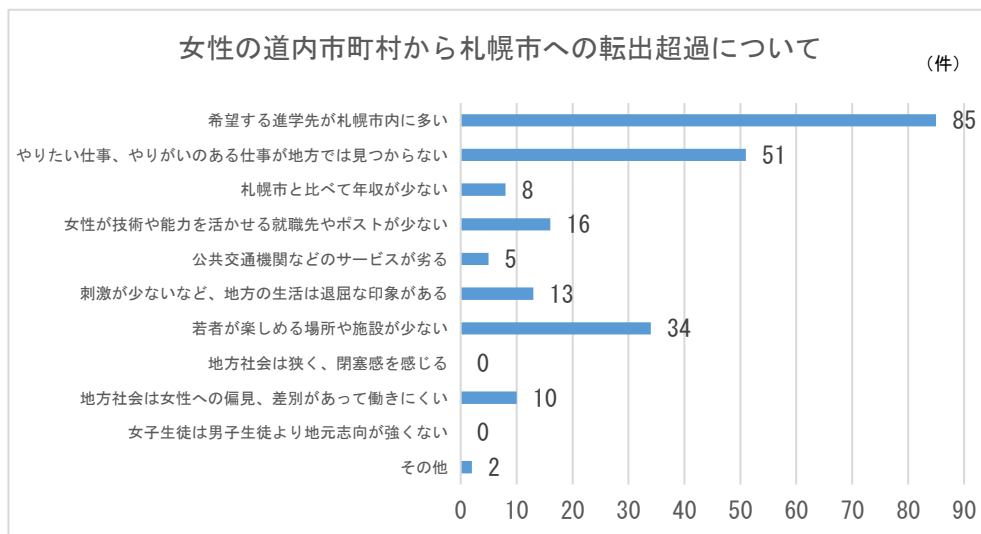
### (1) 札幌市への女性の転出超過について

#### 【設問】

北海道では道内市町村から札幌市への女性の転出超過数が男性を上回る傾向が続いています。女子生徒が札幌市を希望する傾向が強い理由について、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。（2個まで選択可能）

- 1 希望する進学先が札幌市内に多い
- 2 やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない
- 3 札幌市と比べて年収が少ない
- 4 女性が技術や能力を活かせる就職先やポストが少ない
- 5 公共交通機関などのサービスが劣る
- 6 刺激が少ないなど、地方の生活は退屈な印象がある
- 7 若者が楽しめる場所や施設が少ない
- 8 地方社会は狭く、閉塞感を感じる
- 9 地方社会は女性への偏見、差別があって働きにくい
- 10 女子生徒は男子生徒より地元志向が強くない
- 11 その他

#### 【回答】



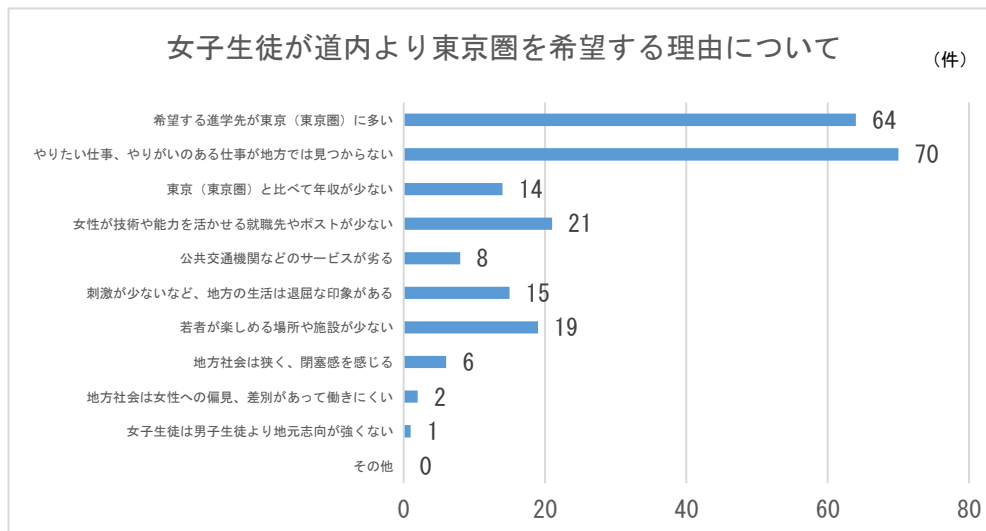
## (2) 東京圏への女性の転出超過について

### 【設問】

北海道では2014年以降、女性の転出超過数が男性を上回る傾向が続いています。女子生徒が道内より東京圏を希望する理由について、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 希望する進学先が東京（東京圏）に多い
- 2 やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない
- 3 東京（東京圏）と比べて年収が少ない
- 4 女性が技術や能力を活かせる就職先やポストが少ない
- 5 公共交通機関などのサービスが劣る
- 6 刺激が少ないなど、地方の生活は退屈な印象がある
- 7 若者が楽しめる場所や施設が少ない
- 8 地方社会は狭く、閉塞感を感じる
- 9 地方社会は女性への偏見、差別があって働きにくい
- 10 女子生徒は男子生徒より地元志向が強くない
- 11 その他

### 【回答】



## 【設問】 道内大学

【1】 大学名を記入してください。

【2】 貴学のおおよその道内、道外出身者の割合を教えてください。(道内○：道外○)

【3】 貴学の学生の就職先として多いと考える地域を選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 出身市町村（札幌市除く）      2 札幌市内
- 3 出身地以外の道内（札幌市除く）
- 4 東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）
- 5 道外（東京圏除く）

【4】 【3】で「札幌市内」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 希望する就職先が札幌市内に多い
- 2 労働条件、賃金の良い就職先が札幌市内に多い
- 3 大企業等での仕事を希望する学生が多い
- 4 専門性の向上を目指す学生が多い
- 5 札幌市以外に希望する求人が少ない
- 6 札幌市が地元あるいは出身地である学生が多い
- 7 札幌市に住みたい学生が多い
- 8 その他

【5】 【3】で「東京圏」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 希望する就職先が東京圏に多い
- 2 労働条件、賃金の良い就職先が東京圏に多い
- 3 大企業等での仕事を希望する学生が多い
- 4 専門性の向上を目指す学生が多い
- 5 東京圏以外に希望する求人が少ない
- 6 東京圏に住みたい学生が多い
- 7 その他

【6】 【3】で「札幌市内」「東京圏」以外を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを記載してください。

【7】 学生の卒業後の地元への回帰について、学生の希望や実際の傾向など把握していましたら、下記より選択願います。(2個まで選択可能)

- 1 地元に戻りたい
- 2 地元を離れ経験を積んだ後、将来的に地元に戻りたい
- 3 地元に戻りたいが、希望する就職先等がない
- 4 地元を離れたい
- 5 その他

【8】 貴学の学生が希望する業種として主なものを選択してください。(5個まで選択可能)

- 1 農林水産業    2 鉱業、建設業、製造業    3 電気、ガス・熱供給、水道業

- 4 情報通信業 5 運輸業、郵便業 6 卸売業、小売業 7 金融業、保険業  
8 不動産業 9 飲食業 10 宿泊業 11 医療、福祉 12 教育、学習支援業  
13 その他サービス業 14 公務 15 その他

【9】若い世代が北海道から転出する主な理由は、道外への進学や就職であると考えられています。若い世代の道内への定着や、一旦道外に出て行っても将来的に地元に戻ってくるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 就職先の選択肢の充実 2 労働条件、賃金の良い就職先の充実  
3 買い物の利便性の向上 4 公共交通機関の整備 5 子育て・教育環境の充実  
6 医療や介護等の福祉の充実 7 娯楽環境の充実 8 その他

【10】【9】で選択した対策について、対策の具体的な内容について考えるものがあれば記載してください。

【11】道内の市町村を見ると、若い世代を中心に人口が流出している地域が多く、特に札幌市への集中が進んでいます。札幌市への集中対策として、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 就職先の選択肢の充実 2 労働条件、賃金の良い就職先の充実  
3 買い物の利便性の向上 4 公共交通機関の整備 5 子育て・教育環境の充実  
6 医療や介護等の福祉の充実 7 娯楽環境の充実 8 その他

【12】【11】で選択した対策について、対策の具体的な内容について考えるものがあれば記載してください。

【13】北海道では道内市町村から札幌市への女性の転出超過数が男性を上回る傾向が続いています。女子学生が札幌市を希望する傾向が強い理由について、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない  
2 札幌市と比べて年収が少ない  
3 女性が技術や能力を活かせる就職先やポストが少ない  
4 公共交通機関などのサービスが劣る  
5 刺激が少ないなど、地方の生活は退屈な印象がある  
6 若者が楽しめる場所や施設が少ない  
7 地方社会は狭く、閉塞感を感じる  
8 地方社会は女性への偏見、差別があって働きにくい  
9 女子生徒は男子生徒より地元志向が強くない 10 その他

【14】北海道では2014年以降、女性の転出超過数が男性を上回る傾向が続いています。女子学生が道内より東京圏を希望する理由について、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない  
2 東京（東京圏）と比べて年収が少ない  
3 女性が技術や能力を活かせる就職先やポストが少ない  
4 公共交通機関などのサービスが劣る  
5 刺激が少ないなど、地方の生活は退屈な印象がある

- 6 若者が楽しめる場所や施設が少ない
- 7 地方社会は狭く、閉塞感を感じる
- 8 地方社会は女性への偏見、差別があって働きにくい
- 9 女子生徒は男子生徒より地元志向が強くない 10 その他

## 【若い世代の就職に関する道内大学への調査結果の概要】

### 【大学の所在地及び回答状況】

地域	札幌市	石狩 (札幌除く)	空知	後志	胆振	渡島	上川	宗谷
設置数	11	7	1	1	1	4	2	1
回答数	4	6	1	0	0	0	1	0

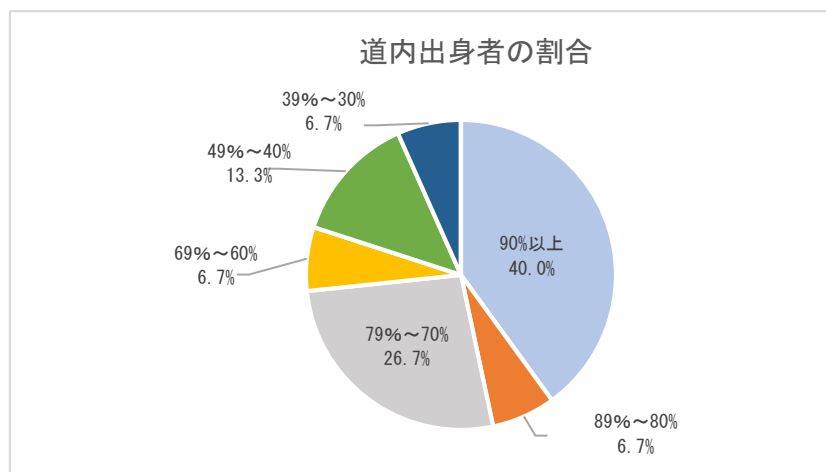
地域	オホーツク	十勝	釧路	計
設置数	2	2	1	33
回答数	1	1	1	15

※日高、檜山、留萌、根室地域に所在する大学はない。

## 1. 道内・道外出身者の割合

### 【設問】

貴学のおおよその道内、道外出身者の割合を教えてください。



回答があった大学のうち約7割の大学が道内出身者7割以上となっている。

## 2. 就職について

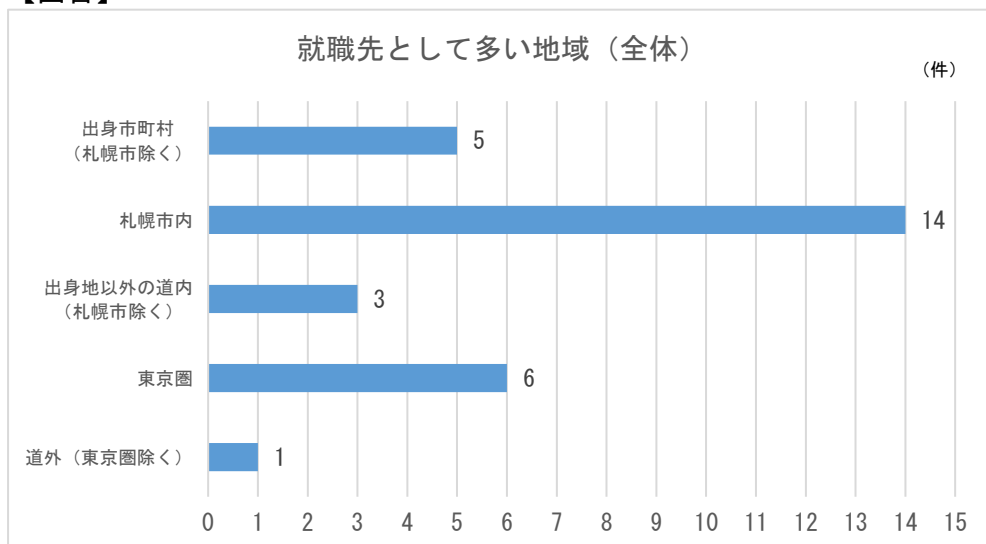
### (1) 就職する地域

#### 【設問】

貴学の学生の就職先として多いと考える地域を選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 出身市町村 (札幌市除く)
- 2 札幌市内
- 3 出身地以外の道内 (札幌市除く)
- 4 東京圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
- 5 道外 (東京圏除く)

## 【回答】



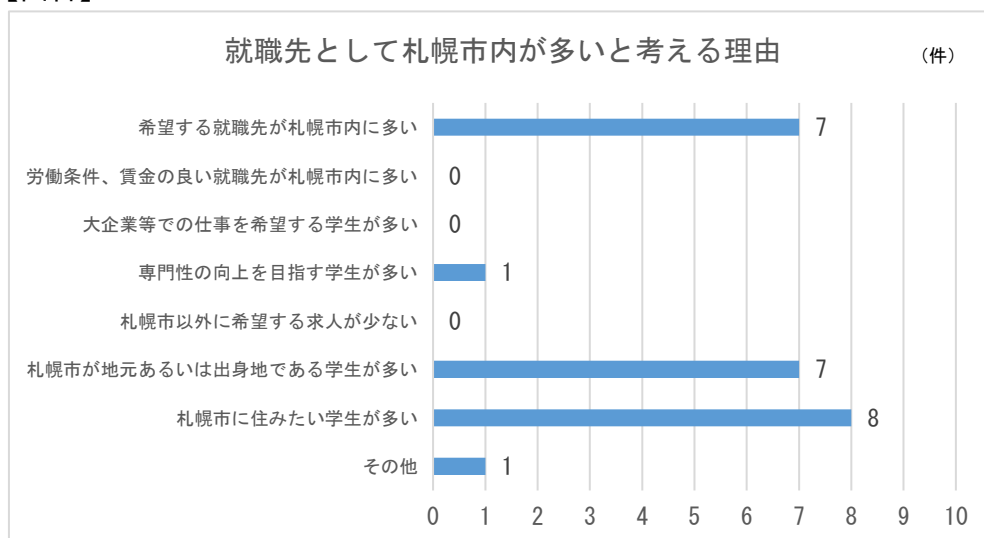
## (2) 就職先（札幌市）

### 【設問】

貴学の学生の就職先として多いと考える地域で「札幌市内」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 希望する就職先が札幌市内に多い
- 2 労働条件、賃金の良い就職先が札幌市内に多い
- 3 大企業等での仕事を希望する学生が多い
- 4 専門性の向上を目指す学生が多い
- 5 札幌市以外に希望する求人が少ない
- 6 札幌市が地元あるいは出身地である学生が多い
- 7 札幌市に住みたい学生が多い
- 8 その他

### 【回答】



### 《主な具体的記述》

- ・ 選択肢のすべての事項が該当する。希望する職種・労働条件・企業の立地はもちろん、友人・娯楽・趣味等、生活上必要なものについて学生のニーズを満たすことができるため。

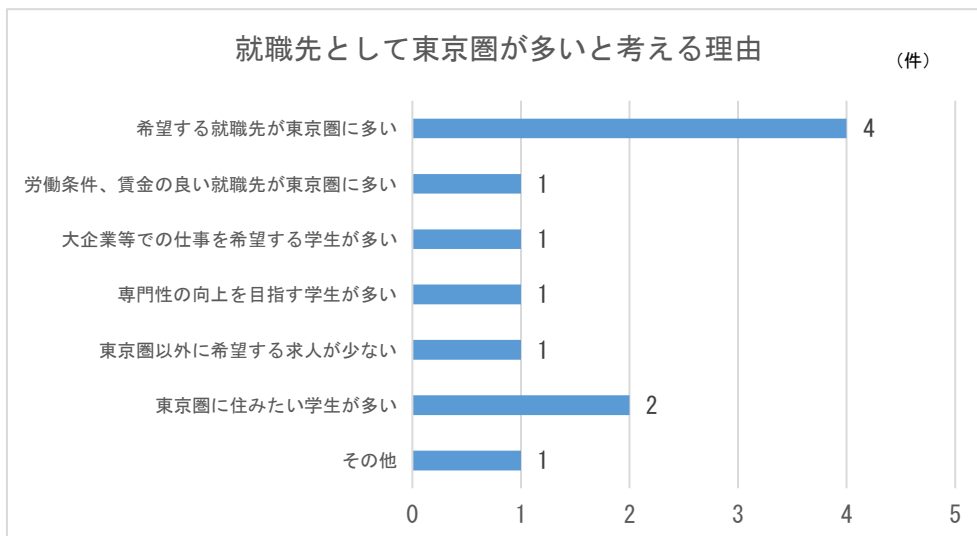
### (3) 就職先（東京圏）

#### 【設問】

貴学の学生の就職先として多いと考える地域で「東京圏」を選択した場合、その傾向となっている理由として考えられることを選択してください。（2個まで選択可能）

- 1 希望する就職先が東京圏に多い
- 2 労働条件、賃金の良い就職先が東京圏に多い
- 3 大企業等での仕事を希望する学生が多い
- 4 専門性の向上を目指す学生が多い
- 5 東京圏以外に希望する求人が少ない
- 6 東京圏に住みたい学生が多い
- 7 その他

#### 【回答】



#### 《主な具体的記述》

- ・ 選択肢のすべての事項が該当する。希望する職種・労働条件・企業の立地はもちろん、友人・娯楽・趣味等、生活上必要なものについて学生のニーズを満たすことができるため。

#### 【就職先として、「札幌市内」「東京圏」以外を選択した場合、その傾向となっている理由（自由記載）】

#### 《主な回答内容》

- ・ 出身地へのUターンを希望する学生が多いため。（同旨の回答：4校）
- ・ 札幌近郊の企業への就職希望があるため。
- ・ 卒業後に自営業を継ぐ場合があるため。
- ・ 道内各地に支店などがあり、どこに転勤になるかわからない場合があるため。
- ・ 珍しい職種で、道内の一部にしか会社がない場合があるため。
- ・ 地元での就職を希望する学生に関しては、奨学金返還制度を利用している学生が多いため。



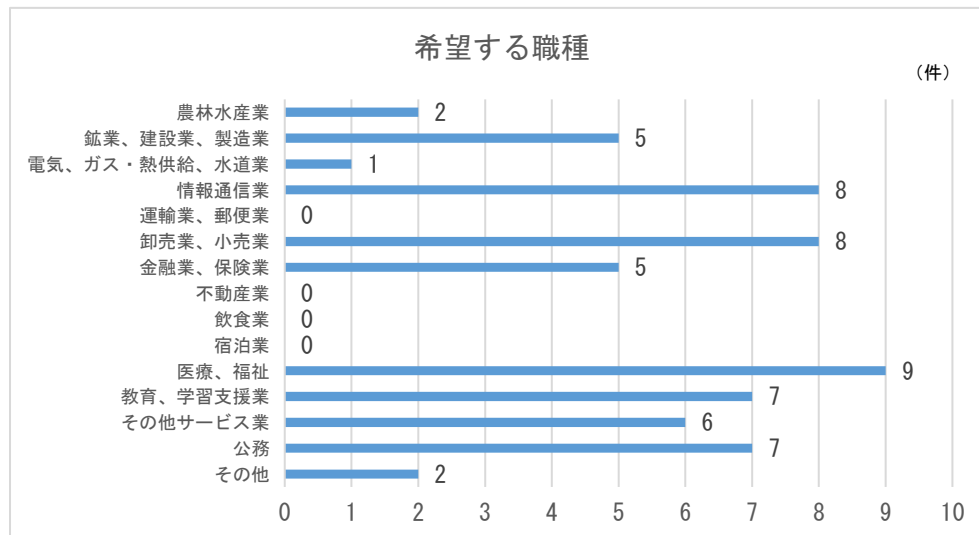
## (2) 希望する職種

### 【設問】

貴学の学生が希望する職種として主なものを2つ選択してください。

- 1 農林水産業
- 2 鉱業、建設業、製造業
- 3 電気、ガス・熱供給、水道業
- 4 情報通信業
- 5 運輸業、郵便業
- 6 卸売業、小売業
- 7 金融業、保険業
- 8 不動産業
- 9 飲食業
- 10 宿泊業
- 11 医療、福祉
- 12 教育、学習支援業
- 13 その他サービス業
- 14 公務
- 15 その他

### 【回答】



※その他の内容 ～臨床研修医、専門技術サービス業（動物病院、建設コンサルタントなど）

医療、情報通信業、卸売業・小売業が多い傾向となった。

## 4. 地元志向について

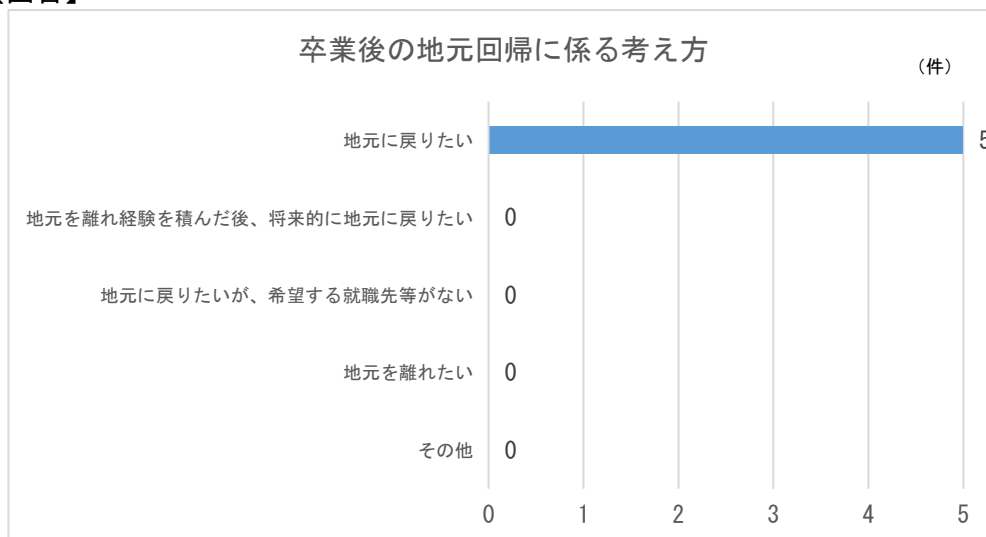
### (1) 卒業後の地元回帰に対する考え

#### 【設問】

学生の卒業後の地元への回帰について、学生の希望や実際の傾向など把握していただきました。下記より選択願います。(2個まで選択可能)

- 1 地元に戻りたい
- 2 地元を離れ経験を積んだ後、将来的に地元に戻りたい
- 3 地元に戻りたいが、希望する就職先等がない
- 4 地元を離れたたい
- 5 その他

## 【回答】



## 5. 若者の道外流出対策等について

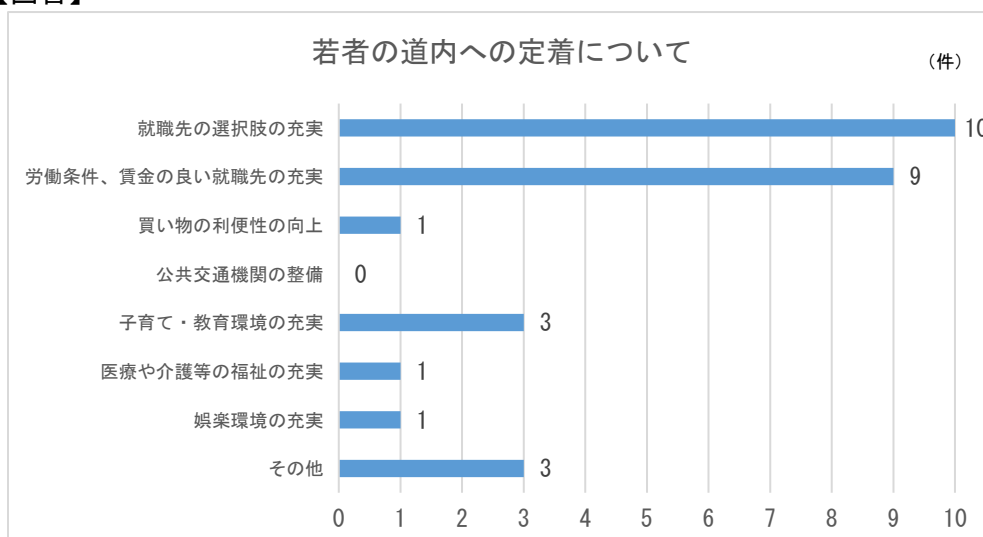
### (1) 道外流出について

#### 【設問】

若い世代が北海道から転出する主な理由は、道外への進学や就職であると考えられています。若い世代の道内への定着や、一旦道外に出て行っても将来的に地元に戻ってくるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 就職先の選択肢の充実
- 2 労働条件、賃金の良い就職先の充実
- 3 買い物の利便性の向上
- 4 公共交通機関の整備
- 5 子育て・教育環境の充実
- 6 医療や介護等の福祉の充実
- 7 娯楽環境の充実
- 8 その他

#### 【回答】



#### 《主な具体的記述》

- ・ 特効薬はない。一人一人の個別のニーズに合った支援が必要であり、収入とやりがいと将来性を満たしつつ、地元愛に働きかけられるような施策が必要。
- ・ 北海道の魅力の周知・生活環境の充実

- ・一度道外に出てそこで生活の基盤ができてしまうと、次第に回帰心は薄れていき、家庭の事情から北海道に戻ることが難しくなることが最も大きいと考える。現在はリモート勤務が可能な企業も増えてきたが、まだまだ少なく、北海道内でできる仕事の選択肢が増えなければ、現世代の地元回帰は難しいと考える。

【対策の具体的な内容】

- ・企業等の道内誘致（同旨の回答：5校）
- ・北海道の子育て・教育環境の充実、周知（同旨の回答：2校）
- ・道内企業と大学が連携した採用の推薦制度の創設
- ・道外学生への北海道のPR
- ・電気代・灯油代を安価にする施策
- ・停電、大雪等への防災対策の充実
- ・テレワークの推進
- ・職種選択の多様化

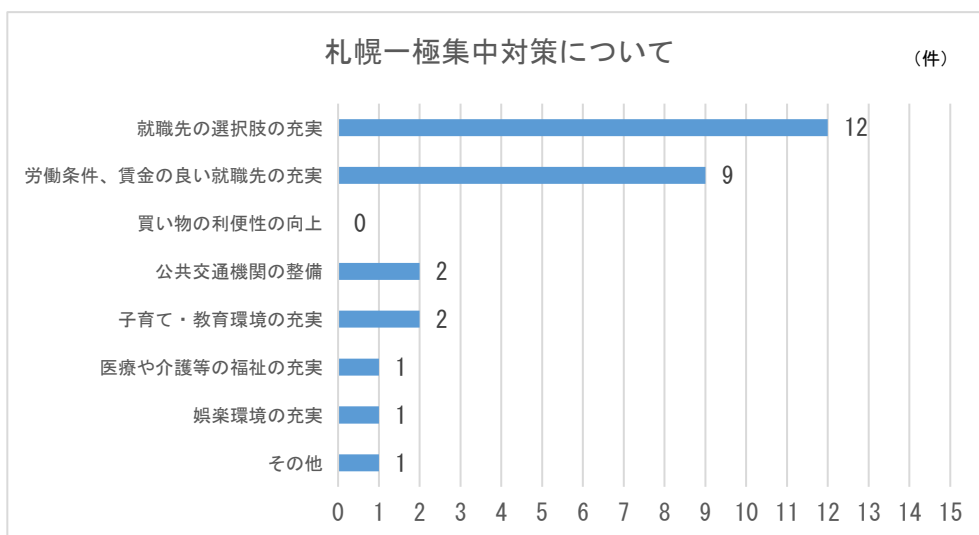
(2) 札幌への人口集中について

【設問】

道内の市町村を見ると、若い世代を中心に人口が流出している地域が多く、特に札幌市への集中が進んでいます。札幌市への集中対策として、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 就職先の選択肢の充実
- 2 労働条件、賃金の良い就職先の充実
- 3 買い物の利便性の向上
- 4 公共交通機関の整備
- 5 子育て・教育環境の充実
- 6 医療や介護等の福祉の充実
- 7 娯楽環境の充実
- 8 その他

【回答】



《主な具体的記述》

- ・都市への人口集中は世界的な流れであり、小手先の対策をしてもあまり解決にはならない。逆に、人口集中を受け入れることで何が出来るかを考えることが重要。大都市圏に住む人々の住民税を多く徴収し、その税収をもって地方への移住対策や、定住ではなく滞在人口増加策に充てるのがよいと考える。

【対策の具体的な内容】

- ・地方独自の生活スタイルや、道の守るべき自然遺産、歴史などの若者への伝達。

- ・企業誘致がとても重要。地元に戻りたいが仕事がないという学生は多い。奨学金返還制度は札幌市に比べ充実している自治体が多く見受けられるので、魅力的な企業誘致が不可欠。
- ・札幌に集中する雇用や医療などの生活基盤の分散。

## 6. 女性の流出対策等について

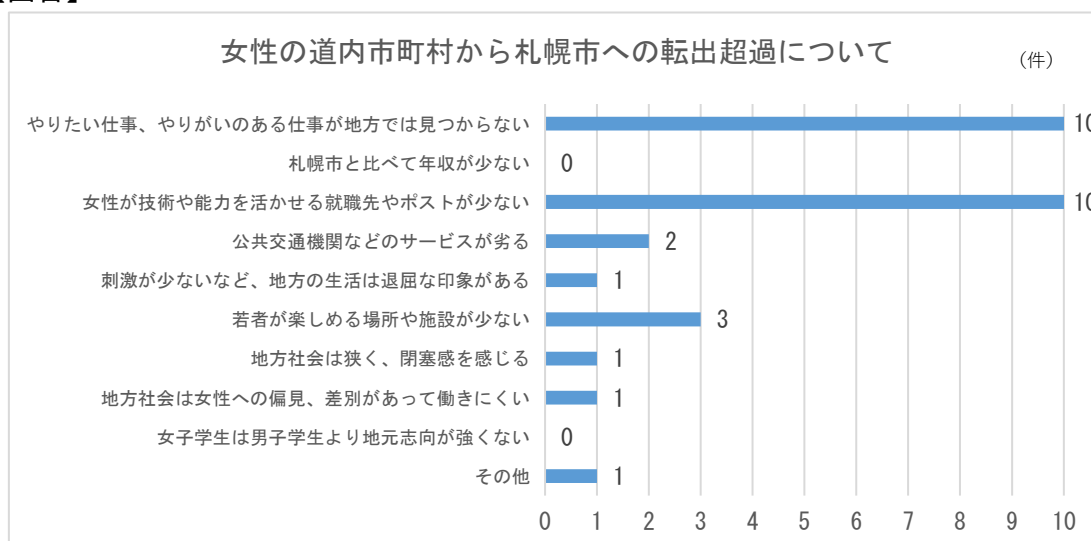
### (1) 札幌市への女性の転出超過について

#### 【設問】

北海道では道内市町村から札幌市への女性の転出超過数が男性を上回る傾向が続いています。女子学生が札幌市を希望する傾向が強い理由について、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない
- 2 札幌市と比べて年収が少ない
- 3 女性が技術や能力を活かせる就職先やポストが少ない
- 4 公共交通機関などのサービスが劣る
- 5 刺激が少ないなど、地方の生活は退屈な印象がある
- 6 若者が楽しめる場所や施設が少ない
- 7 地方社会は狭く、閉塞感を感じる
- 8 地方社会は女性への偏見、差別があって働きにくい
- 9 女子生徒は男子生徒より地元志向が強くない
- 10 その他

#### 【回答】



#### 《主な具体的記述》

- ・選択肢のすべての事項が該当する。地方は特に、若い女性が住みにくい。特に、古い世代との人間関係において、古い慣習により求められる女性像が苦痛なのではないか。

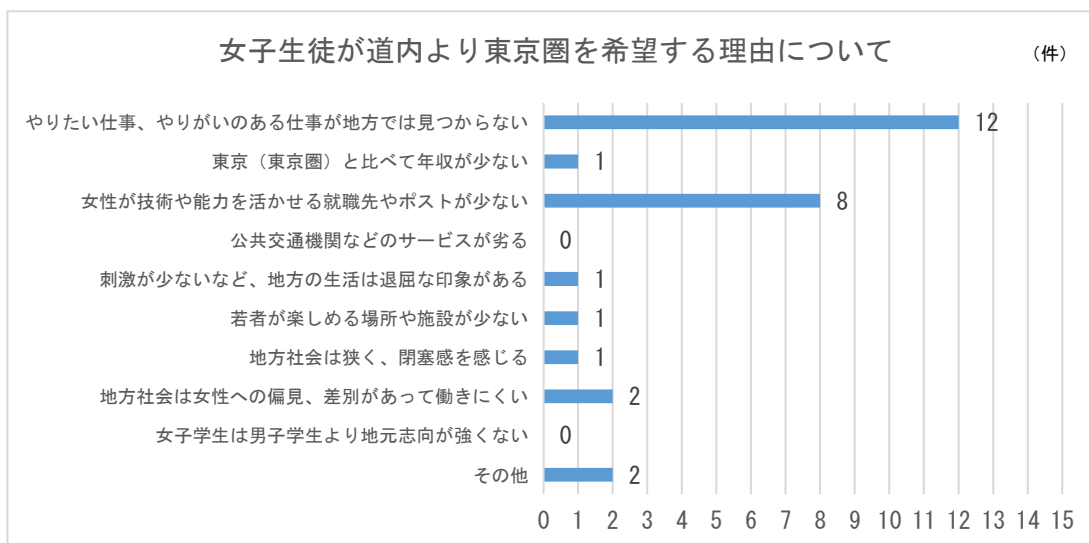
### (2) 東京圏への女性の転出超過について

#### 【設問】

北海道では2014年以降、女性の転出超過数が男性を上回る傾向が続いています。女子学生が道内より東京圏を希望する理由について、どのようなことが考えられますか。当てはまるものを選択してください。(2個まで選択可能)

- 1 やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない
- 2 東京（東京圏）と比べて年収が少ない
- 3 女性が技術や能力を活かせる就職先やポストが少ない
- 4 公共交通機関などのサービスが劣る
- 5 刺激が少ないなど、地方の生活は退屈な印象がある
- 6 若者が楽しめる場所や施設が少ない
- 7 地方社会は狭く、閉塞感を感じる
- 8 地方社会は女性への偏見、差別があつて働きにくい
- 9 女子生徒は男子生徒より地元志向が強くない 10 その他

【回答】



《主な具体的記述》

- ・ 選択肢のすべての事項が該当する。地方は特に、若い女性が住みにくい。特に、古い世代との人間関係において、古い慣習により求められる女性像が苦痛なのではないか。